

わたくしの支部から 第6回 枝幸支部編

若者の集い(みんなの集い)IN枝幸!

先日は、お忙しい中、枝幸まで足を運んでいただきありがとうございました。礼文、豊富、そして枝幸と3年連続で若者の集いが開催できたことを嬉しく思います。昨年度10月の若者の集いin豊富での指名を受け、3月の送別会でも改めて指名を受け…。と、皆さんの期待の高さを感じました。そこで、支部の体制を受け本当に実施できるのか!と試行錯誤しながら何とか開催し、無事に終える事が出来ました。(さて、枝幸支部に指名権が与えられました、次はどこにお願いしようかな)準備不足で至らない点もあったと思いますが、管内の皆さんと交流することができた良い機会となり、支部の一人一人が『やってよかった』と言えるものになったと思いますし、自信にもつながりました。準備運営に関わるなかで、枝幸支部自体も交流が促進されました。授業研究でよく言われる大変だけど授業者が一番勉強になると似た感覚です。改めて若者の集いは素敵な取り組みです。次以降の宗谷情報で参加者の感想などを紹介する機会もいただけそうなので、ご期待ください。よろしくお祈りします。

組合の活動は学校作りや権利を求める取り組み、情勢についての学習と色々ありますが、今回の集いのように、先生方のつながりを大切にすることが活動の基本となり強さになっていくのだと改めて感じました。

枝幸支部の活動方針の第一は「1人分會を孤立させない」です。今回の取り組みを良い機会に、引き続き執行部を中心に分會とのつながりを大切に組み立てていきたいと思ひます。参加いただいた皆様、都合が悪く参加はできなかったけれど、気にかけていただいた皆様、本当にありがとうございました。文責：枝幸支部・支部長：小野 文雅

学びの秋、到来!
みんなで「合同教研」に参加しよう!

年に一度の全道的な学びの場「合同教育研究全道集會(以下、合同教研)」が今年も札幌で開催されます。今年は、十一月の三連休の頭二日間の開催となつていて、宗谷からも参加しやすい日程になっています。

ニーズに応える 24の分科会

合同教研の特徴のひとつは分科会が二四個あることです。全国的に見て

24の分科会

- (1)国語教育 (2)外国語教育 (3)社会科教育
- (4)数学教育 (5)理科教育 (6)美術教育
- (7)書教育 (8)音楽教育 (9)技術・職業教育
- (10)家庭科教育 (11)保健・体育教育
- (12)総合学習・生活科
- (13)特設分科会「道徳」
- (14)学校と家庭の生活指導
- (15)教育条件確立の運動
- (16)教育課程・学校づくり
- (17)地域における子育て・学習運動
- (18)地域と学校の文化・スポーツ活動
- (19)国民のための大学づくり
- (20)障害児・障害者の教育と福祉
- (21)環境・公害と教育
- (22)平和・憲法、人権・民族と教育
- (23)子ども・青年の発達と教育
- (24)不登校・登校拒否・高校中退

時事をつかむ4つのテーマ討論
合同教研一日目、十一月三日の午前中にはテーマ討論が行われます。毎年、時事的なテーマを扱って、その時々の教育課題

も、教科別・課題別の分科会が種類豊富にそろっている教育研究集會は珍しいといひます。どの分科会も全道から実践が集まるだけでなく、司会者・共同研究者ともにその分野を深めている方が集うことから、学びが深まるという特徴もあります。ぜひ、各分會・各支部で参加の検討をしてみませんか?

一日目夜には「参加者交流会」も
三日の夜には「参加者交流会」を行っています。昨年は、宗谷教組をはじめ、道教組に集う単組や、いくつかの分科会の共同研究

- テーマ討論**
- ①新「共通テスト」で北海道の教育はどうなるのか
 - ②改正学習指導要領で子ども・学校・教育はどうかかわる?
子どもたちの豊かな成長、教職員、保護者、地域住民の願う教育をめざして
 - ③子どもの貧困と地域・学校
 - ④北海道150年を教育の現場から問い直す～アイヌの立場から～

一〇月十三日まで 早期申込キャンペーン
宗谷教組に加入するみなさんが合同教研に参加する際には、旅費の補助が出ます。一〇月十三日までにはレポーター参加を申込の方、また宗谷に赴任されたから五年目までの方に早期申込特典としてさらに旅費の補助を行います。「行ってみたい」という方はぜひ分會・支部、あるいは宗谷教組本部にご連絡ください。

葉の言 editorial note

◆管内的には管内研・母女と立て続けに教職員のみなさんが集う機会も。稚内の複式校や潮見地区の先生、そして、母女を組織する豊富の先生方は本当にご苦労様です。

◆若い頃、「準備してくれる先生がいるから、参加することが激励になるんだ」と先輩から聞きました。そして「ついでに行った先で美味しいもの食べてこよう」と。そういうやり取りが管内のあちこちで聞こえてくる秋になるといいですね。秋の教研集會、合同教研でみなさんに会えるのも、楽しみです。(naity)

原水爆禁止世界大会に参加して...

第2回「被爆者の方から話を聞いて」

期間中、北海道代表団結団式や分科会などで被爆者の方に話を聞く機会がありました。



ある方は、友だちと蝉取りをしていたときに原爆が爆発しました。塀の上にあったのですが、何が起きたかもわからないうちに地面にたたきつけられていたそうです。別の方はトンネル内にあった

工場で作業していたときだったそうです。何でもない、いつもの生活の中で不意に原爆に襲われたのです。

郵便配達をしていたときに原爆が炸裂した谷口さんと言う方の話をしてくださりました。熱線を背中に受けました。皮膚はただれ、はがれてしまい背中一面を真っ赤にやけどしてしまいました。原爆の熱線は、放射能を含んでいるため普通のやけどとは違います。しかも薬が充分にはありません。毎日背中を洗い(薬品が届くまでは沸かした海水を使っていた)、ガーゼを取り替えることしかできなかったそうです。その方は1年9ヶ月うつぶせのまま寝返りもせず治療を受け、3年4ヶ月後に退院したそうです。このように、放射線のやけどは治りがとても遅いのだそうです。

被爆者の方から話を聞き、爆風や熱線だけでなく、放射能被害も今でも深刻だということでした。「放射能は、被爆者が死ぬまで体の中にあり、被爆者を苦しめている。」という言葉が印象的でした。



文責：稚内南小学校・山本 民

宗谷

宗谷教職員組合 「宗谷情報」No.12 平成29年9月21日発行
発行責任者:古川 正史

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web: http://www.soya-teachers.org Mail: info@soya-teachers.org



9/30 宗谷教組「秋の教研集会」 道徳の教科化シンポジウムと分科会で学ぼう!

宗谷教職員組合では、9月30日に秋の教研集会を行います。
この集まりでは、道徳の教科化を中心に新学習指導要領の時代の教育について考える「ミニシンポジウム」と、中学校に焦点を当てた分科会を設けます。
開催まで1週間となりました。ひとりひとりの先生方が土曜日の夕方の都合を少しずつつけながら、集える機会になることを願っています。

第1部 ミニシンポジウム 13:50~15:00

テーマ:「どうする、『道徳教科化』~あと半年で、考えるべきこと~」

小学校では道徳の教科書が決まりました。これから、教材研究や「評価をどうする」ということを検討していくことになります。そのうえで大切にしていきたい観点を参加者で深め合います。それぞれが思っている疑問などを出し合いながら、「これが正解」とはいかないまでも、「こういう考え方ができるね」という学びの場にしていきたいと考えています。

パネラー 高田 和也先生(稚内南小学校), 相座 拓己先生(利尻中学校)ほか(現在打診中)
コーディネーター 内藤 修司(宗谷教組本部)

第2部 分科会 15:30~17:30

前期、取り組んだ教育実践を持ち寄りませんか?
資料は、学級通信や指導案などでOK!もちろん、オブザーバー参加もお待ちしています。

【開設分科会】

- ① 中学校国語 助言者:菅野 剛先生
- ② 中学校社会 助言者:平間 信雄先生
- ③ 中学校英語 助言者:古川 正史先生(豊富中)
- ④ 図工・美術(小・中共通) 助言者:調整中
- ⑤ 特別支援教育 助言者:原田 伸吾先生(稚内中)
- ⑥ 小学校 助言者:江川 善次先生



ごめんなさい

全分科会の成立を目指しましたが、なかなか参加者が組織できず「数学」「理科」「音楽」「体育」の分科会をさせることができませんでした。参加の検討をいただいたみなさん、ごめんなさい。

秋の教研集会 参加申し込み

氏名		学校名	
----	--	-----	--

第1部「ミニシンポジウム」

参加します	参加しません
-------	--------

第2部「分科会」

分科会名	参加に○を
① 中学校国語	
② 中学校社会	
③ 中学校英語	
④ 図工・美術(小・中共通)	
⑤ 特別支援教育	
⑥ 小学校	

特別支援教育分科会に参加の方は興味ある内容に○をつけてください。

- 中学卒業後の進路について
(どんな道があるのか。養護学校の種別にこだわらなくて良いのか等々)
- 宗谷管内の福祉施設について(就労に関わるもの)
- 障害について基本的な知識を知る機会がほしい。
- 性教育、異性との関わり、結婚など支援準備することは何か?
- 自立のために必要な経済的なこと
- 障害児(者)とうまく接するための技術
- 関係機関の仕事内容
- 本人障害理解について(いつ頃、どんな方法で進めるべきか)
- 発達障害を持つ子供を含む、あったかいクラス作り
- 知的な遅れのない子どもたちの話

切り取り線

みんなが集まろう!
語り合おう!